

令和5年度南予地方局予算 事業実施状況

南予津波夜間避難訓練支援事業	1
予土線駅前賑わい創出事業	2
「南予の媛小春」魅力アップ事業	3
予土県境サイクリングブランド開発事業	4
南予企業人材確保促進事業.....	5
障がい者介護事業就労促進事業	6
南予儲かる農業人材育成事業.....	7
高級菓子用くだもの産地確立事業	8
林材業人材育成事業	9

南予津波夜間避難訓練支援事業

担当課	総務県民課防災対策室
事業期間	R5～6年度
予算額	1,000千円

【事業の実施状況】

「夜間・早朝等」に発生する地震津波から高台等への迅速な避難のため、津波避難対策特別強化地域に指定されている宇和海沿岸の5市町(宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町)において、各市町や自主防災組織等と連携のうえ、モデル地区での夜間避難訓練の実施を支援した。

1 事前研修会の開催

宇和海沿岸の自主防災組織等による夜間津波避難訓練の実施拡大を呼びかけるため、東日本大震災の経験や夜間津波避難訓練の実績がある仙台市から講師を招き、研修会を開催した。

(開催日)令和5年6月22日(木)

(講師)仙台市減災推進課 太田千尋氏

(参加者)自主防災組織等の関係者、県・市町職員(約200名)

2 夜間避難訓練等の実施

以下の手順により、各モデル地区の住民等が主体となって夜間避難訓練等を実施した。(5地区で実施。計601名の住民等が夜間避難訓練に参加。)

- ①準備会: 避難行動の重要性や家庭・地域での準備について意見交換し、ファシリテーター(愛媛大学防災情報研究センター 二神副センター長ほか)と共に避難行動を検討した。
- ②夜間避難訓練: 準備会における検討内容のもと、夜間津波避難対策補助事業によって整備された照明灯や転落防止柵等の効果を確認しながら、地域住民等による夜間避難訓練を実施した。
- ③振り返り会: 夜間避難訓練により新たに見つかった課題等について、ファシリテーターと共に対応等を検討した。

予土線駅前賑わい創出事業

担当課	地域政策課
事業期間	R5～7年度
予算額	2,237千円

【事業の実施状況】

人口減少が著しい予土線沿線地域において、主要3駅(伊予宮野下駅・近永駅・松丸駅)で駅前マルシェを定期開催し、新たな賑わいを創出するとともに、駅前地区の活性化による交流人口拡大を図った。

1 予土線駅前マルシェの開催

駅前地区ごとに、地域住民等で構成する実行委員会に運営を委託し、各駅前持ち回りで駅前マルシェを定期的で開催した。

- ・実施場所 伊予宮野下駅、近永駅、松丸駅の各駅前
- ・実施状況 令和5年6月～令和6年3月に各駅3回実施(年間9回実施)

2 イベントPR支援

(1) 合同連絡会の開催

イベントの成果や課題共有のため、各実行委員会関係者等が参集する連絡会を開催した。

(2) 広報の実施

統一ポスターの作成や県政広報番組等を活用したPRを実施するとともに、特に中予エリアからの誘客促進を図るため、フリーペーパーへの情報掲載や松山市内の商業施設でのチラシ設置等に取り組むなど、年間を通じて駅前マルシェの開催を広く周知した。

「南予の媛小春」魅力アップ事業

担当課	農業振興課産地戦略推進室
事業期間	R5～7年度
予算額	1,000千円

【事業の実施状況】

「媛小春」は抜群の食味を持ちながら、樹勢管理が難しく収量が安定しないなどの栽培上の問題に加え、果皮が黄色で酸味を連想させる外観から認知度が低い。そこで、栽培上の課題に対する技術的対策と特長を生かした直販向け品目としての販路拡大支援を行った。

1 栽培技術の向上による生産量拡大及び新規栽培者獲得

- ・早期結実を目的として伊予柑を中間台木とした接ぎ木を実施(生育調査実施中)。
- ・鳥害対策実証として防鳥ネットによる実証ほを設置(12/7)。対照区では、若干の被害が確認されたのに対し、ネット区での鳥害は確認されなかった。
- ・鳥害防止及び雪害回避を目的とした年内収穫(12/27)を行ったところ、クエン酸が 1.57g/100ml と高かったものの、1月下旬に 1.30g/100ml に低下し、販売に適した食味となった。
- ・情報共有と相互研鑽を目的とした「南予の媛小春」魅力アップ協議会(会長:宮本泰邦[ミヤモトオレンジガーデン代表取締役] 会員数 20名)を設立(8/1)。同日、みかん研究所ほ場での講習のほか、1月に八幡浜市内で、一般的な台木と弱勢台木の着果状況確認、栽培管理講習会を実施し、技術向上と情報共有を図った。
- ・新規栽培者獲得のため、愛南町で栽培に興味を持つ青年農業者(13名)を対象に、品種特性の紹介と栽培管理の講習会を開催した(12/7)。

2 戦略的流通・販売支援対策

- ・共通ロゴを使用した「南予の媛小春」の販促資材を作成し、えひめ食の市やオレンジフェスタ等のイベントで活用した。また、新たな流通対策として、都市部の事業者へサンプルを提供。生果販売を希望する事業者に対しては南予の生産者を紹介し、新規成約となった。
- ・管内の加工業者等と連携し、媛小春ジャムを使ったガトーショコラ、デニッシュ等の試作品を作成した。試作品は、イベント等にて販売し媛小春の認知度向上を図った。

予土県境サイクリングブランド開発事業

担当課	地域政策課
事業期間	R4～6年度
予算額	2,717千円

【事業の実施状況】

国道381号等で繋がる愛媛・高知の予土県境地域の誘客促進及び認知度向上を図るため、地元市町等と連携し、サイクリングイベントを開催するとともに、地域でのサイクルツーリズム定着のため、サイクリングツアーの実施やPRに取り組んだ。

1 地域主体のサイクリングイベントの開催

予土県境地域連携実行委員会(愛媛県、高知県、宇和島市、松野町、鬼北町、四万十市、四万十町及び沿線道の駅)事業として実施した。

(1) 散走スポットの設定と散走イベントの実施

実行委員会各団体、地域住民、サイクリング有識者等から構成するワーキンググループを設置し、散走スポットを検討・設定するとともに、設定したスポットを巡るデジタルスタンプラリーを活用した散走イベント(実証実験)を実施した。

(2) サイクリスト受入環境の整備

レンタサイクルの利用率向上及びサイクリングで観光する際の満足度を高めるため、実行委員会各団体等を対象に「自転車整備セミナー」を実施した。

2 サイクリング重点戦略エリアにおける「散走」ブランド定着

「宇和島市から広見川流域を中心とした地域」の地域資源と親和性の高い散走の普及・定着のため、散走を目的としたサイクリングツアーやPR事業に取り組んだ。

○予土まち散走ツアー、PR事業の実施

地域の特色や季節に応じたガイド付き散走ツアーを4回実施したほか、散走ブランドの定着を図るキャンペーンの実施など、当地域における散走の魅力についてPRを図った。

南予企業人材確保促進事業

担当課	商工観光課
事業期間	R4～6年度
予算額	900千円

【事業の実施状況】

南予の企業や産業の魅力を若者世代にPRするため、地元企業に対して自社の魅力と南予地域で就職した際の将来像を効果的に発信するノウハウを構築するとともに、高校生に対しては南予地域で就職した際のライフスタイル等を明確にし、南予地域で働き・暮らすことの魅力を再確認できる機会を提供することで、若者の地域外への流出防止に取り組んだ。

1 南予企業の魅力発信力向上セミナー

開催:3回

講師:愛媛県よろず支援拠点 コーディネーター2名
(リモート開催)

開催日:令和5年5月26日(金) 参加者:24社 28名

開催日:令和5年7月12日(水) 参加者:36社 43名

開催日:令和5年9月21日(木) 参加者:19社 21名

2 高校生を対象とした企業の魅力発信イベントの実施

開催:13回(南予管内県立高校13校・各1回)

参加者:企業延べ264社、高校生1,418名

期間:令和5年7月～令和6年3月

3 南予企業の魅力発信に係る連絡会議の開催:4回

対象者:南予管内の高校20校の進路・就職担当教諭

・年度初め担当者会:令和5年4月14日(金)(リモート開催)
令和5年4月26日(水)(リモート開催)

・年末担当者会議:令和5年12月26日(火)(書面開催)

・年度末担当者会:令和6年3月28日(木)(書面開催)

4 南予元気企業紹介パンフレットの作成

対象者:南予管内に事業所を有する企業

・34社分の新規パンフレットを作成、管内県立高校に配布するとともに、前年度分と合わせて計62社分を県HPに掲載

障がい者介護事業就労促進事業

担当課	地域福祉課
事業期間	R4～5 年度
予算額	1,253 千円

【事業の実施状況】

障がい者の就労先の選択肢が少ないことに加え、高齢化が著しく介護人材の確保が求められる南予地域において、障がい者の介護事業への就労を促進することで、賃金工賃の向上と介護人材の確保を図るための支援を行った。

1 福福連携検討会議

介護職員初任者研修にあたっての実施方法等について関係者と協議を行ったほか、障がい者の介護事業所での就労の可能性や双方にメリットのある持続可能なビジネスモデルの構築について検討会を行った。

(実施回数) 5回(7/11、8/22、3/1、3/12、3/13)

(参加者) 障がい事業所、介護事業所等、初任者研修実施事業所、共同受注窓口

2 介護職員初任者研修受講モデル事業

障がいのある方を対象に、個人の特性や必要な配慮に応じた講義内容となるよう工夫された介護職員初任者研修を実施した。

(受講者4名、修了者4名(カリキュラム受講、知識と技術の評価試験及び修了試験の合格))

3 就労体験モデル事業

障がい者を介護事業所で体験就労させ、作業可能な業務の切り出しや受け入れに係る体制整備、実際に生じる課題と対応策について整理した。

4 雇用マニュアルの作成

就労体験モデル事業での報告書をもとに、障がい者を介護事業所が雇用する際の手順や留意事項について示した「障がい者雇用マニュアル」を作成し、介護事業所へ共有した。

5 福福連携コーディネーター機能の構築

福福連携のコーディネーターの役割を担う事業者を共同受注窓口とし、持続的な体制のありかたについて検討した。

南予儲かる農業人材育成事業

担当課	農業振興課地域農業育成室
事業期間	R4～6 年度
予算額	3,000 千円

【事業の実施状況】

人口減少が進む南予地域において、農業を始める若者が将来にわたり安定した収入を確保し、地域に定着してもらえるように、管内の普及拠点や関係機関が一体となって新規就農者等の重点指導を行い、年収 1 千万円を確保できる農業者の育成を目指して活動を行った。

1 新規就農者へのフォローアップ体制の構築

(1) 担い手育成戦略検討会議の開催(3回)

円滑な事業推進に向け、各地区の普及指導員が情報を共有した。

(2) 儲かる農業推進チームによる重点指導

南予管内の新規就農者等のうち重点指導対象者 60 人を含めた計 120 人に対し、関係機関や先進農家で組織した推進チームによる巡回相談活動を実施。初期段階の技術指導や経営相談を行い、普及指導員間で指導状況や課題を共有した。

2 南予の産地特性を踏まえた年収1千万円モデルの構築

(1) 新品目・新技術を取り入れた南予の年収1千万円の経営指標を作成

地域の特性や新技術・新品目を組み合わせた年収1千万円モデル(経営指標)を新たに6類型作成するとともに、令和4年度に作成した 18 類型の見直しを行った。

(2) 年収1千万円モデル(経営指標)に基づく新規就農者への重点指導

スマート農業技術や新品目等の導入に向けた技術実証を行い、地域での適応性や課題等について検証するとともに、その結果を組み入れた経営指標を農業者に公表した。

3 儲かる農業・交流セミナー(開催場所:愛南町)

南予管内の新規就農者に加え、将来の担い手となる農業高校生らが一堂に会し、新規就農者の事例発表や先輩農業者による「吉田農園が実践する儲かる農業経営」の講演などを実施した。

高級菓子用くだもの産地確立事業

担当課	農業振興課地域農業育成室
事業期間	R4～6 年度
予算額	1,100 千円

【事業の実施状況】

宇和島市、松野町、鬼北町では、(株)源吉兆庵の工場誘致を機に、菓子用くだもの4品目(くり、もも、かき、びわ)の産地化に取り組んでいる。菓子用くだものを安定供給するため、(株)源吉兆庵を含めた協議会で進捗や課題を共有しながら、高収量・安定生産、地域農産物の加工利用提案、農業法人等への大規模生産の働きかけなどに取り組んだ。

1 加工用くだものに特化した省力・多収技術の確立

(1)もも

- ・早採り栽培の確立とエチレン処理による追熟実証
- ・果実被覆資材を用いた効率的な収穫期判断技術の開発

(2)かき

- ・早採り栽培における着色向上技術の開発
- ・大苗育苗における省力・生育促進技術の検討
- ・炭疽病防除体系の確立

(3)びわ

- ・超大型袋を使った袋掛け作業の省力化実証
- ・防鳥ネットを利用した無袋栽培による省力化実証

(4)省力多収技術動画マニュアル作成

- ・実証ほ場等を活用した栽培技術の動画撮影
- ・省力的なもも栽培・収穫マニュアルの作成

2 加工用くだもの生産体制強化

原料供給計画、技術情報を共有し、関係機関が連携して生産量の拡大を図る「源吉兆庵ファクトリーブランド促進協議会」及び「品目ごとの検討会」の開催(4回)

林材業人材育成事業

担当課	八幡浜支局森林林業課
事業期間	R4～6 年度
予算額	1,000 千円

【事業の実施状況】

将来、リーダーとして活躍する林業人材の確保・育成を図るため、地元高校生を対象に林材業の魅力を再発見する体験研修や、農業者等を対象とした技術研修を実施した。

1 林材業の再発見(地元高校生に向けて)

プロセッサやフォワーダ等の林業機械の操作研修に加え、製材工場やバイオマス発電所等の木材関係施設の見学を通じて、林材業の魅力を発信した。

○県立高校5校(7回) 参加者 151 人

2 農業等と兼業する林業人材の育成

チェーンソーを使用した伐木等の業務に係る特別教育を実施し、農業と兼業する林業人材を育成するとともに、林業事業体との就業マッチングにも取り組んだ。

○参加者 17 人(累計 36 人)